

第2回 武蔵野市NPO活動促進基本計画策定委員会 議事要録

■日 時：平成18年2月16日（木）19：00～21：30

■会 場：商工会館3階 消費生活センター講座室

■出席委員：江上委員長、栗田副委員長、見城委員、千種委員、大谷委員、中川委員、
岩城委員、鈴木委員

■武蔵野市：事務局 市民活動センター所長ほか3名

1. 報告事項

(1) 「第二次武蔵野市行財政改革を推進するための基本方針」について

行財政改革を推進するための基本方針の取組事項として、「市民活動やNPO活動への人的・財政的支援の拡充」「NPO活動促進基本計画の策定」「市民活動支援の場の設置」「市内の企業、コミュニティ活動団体、ボランティアやNPOなどとの連携の強化」が挙げられており、NPO活動促進基本計画策定委員会と係わる部分なので、基本方針の内容について事務局より報告した。

(2) ボランティアセンター武蔵野の活動について

ボランティアセンター武蔵野の理念、基本計画（2005年～2009年）、活動内容について、千種委員（ボランティアセンター武蔵野運営委員長）が説明した。

(3) 武蔵野市NPO・市民活動ネットワークの設立について

1月28日に開設した「武蔵野市NPO・市民活動ネットワーク」の設立総会と、総会后引き続き行なわれた「交流・情報交換会」の内容や意見交換で出た意見について、栗田副委員長（武蔵野市NPO・市民活動ネットワーク世話人代表）が報告した。

2. 議事

(1) 「NPO・市民活動団体等実態調査」の集計報告

「NPO・市民活動団体等実態調査」の調査概要について事務局が報告した。

(2) 課題・問題点整理

【事務局】「NPO・市民活動団体等実態調査」の結果から、「人材確保」「活動資金」「活

動場所」の3つが、行政への要望やNPO活動を進める上での課題として読み取れる。また、「協働」という概念を武蔵野市的にどう定義をしていくかを一度整理しておかないならないので、課題・問題点として挙げさせていただいた。

【委員長】「課題・問題点整理」となっているが、主語は何なのか。また、誰にとっての課題、問題なのか。

【事務局】実態調査や庁内ワーキングチームの中で出された課題・問題点である。「人材確保」「活動資金」「活動場所」についてはNPO実態調査から浮かび上がってきた課題で、それに対する行政側の解決・検討の方向といったような形である。

【委員長】NPOが抱えている課題や問題点が、即行政にとっての課題・問題点になるかということがあると思う。「人材確保」「活動資金」「活動場所」の項目だが、何で行政がこういうことを課題にしなければならないのかは、論理的な説明が必要だと思う。公共的なサービスとして、無条件にこういうことをやらなければならないという時代ではないと思う。あえて行政がこうやりますよというためには、それなりの根拠が必要になる。それは多分、議論の前提になる話だと思うので、少し慎重にやらなければならない。そのことが協働とは何かということに係わってくると思う。

これは個人的な考え方だが、行政という1つの主体があり、市民という1つの主体があり、この2つの関係をどうするかということが協働という問題ではなく、協働というのはその2つの主体が3つ目の新しい空間をどうつくるかという問題であると思う。

【委員】市がNPOなり市民活動なりを何でサポートするのか、何で大事に思うのかをはっきり出さないと、何らか新しい空間をつくる、公共的なものをつくる時のスタンスをきちんと伝えないと市民の理解は得られないところはあるかもしれない。

【委員】今まで行政がNPOと協働でいろいろとやっていると思うが、行政側からの課題というのは具体的に何か出ているのか。

【事務局】「各担当課とNPO団体との協働の現状と課題」という資料で担当課における協働の現状や問題点、問題を解決するにはどうしたらいいかという行政サイドから見た課題、問題点を前回示している。実態があるので、その実態から議論していただいた方がいいかなと思い、提供させていただいた。

【委員長】その実態を踏まえた上で、大きな枠組の話も少しはしておいた方がいいかなと思う。

(3) 今後の策定スケジュール

今後の策定スケジュールについて、夏に2～3週間の期間でパブリックコメントの募集をしたい考えであるため、7月には計画の骨子案の討議をある程度していただきたいこと、それを集約した上で基本計画案を作成し、微調整を加えながら、最終的な基本計画を1月ぐらいには確定するという流れであることを事務局より説明した。また、NPOへのヒアリングについて、どの段階でどういう形で行なうかについて意見を求めた。

【委員】一度、NPO・市民活動ネットワークの交流・情報交換会で意見を出していただいた部分もあるので、ある程度こちらの考え方を決定した上でヒアリングをした方が意味があるのではないかと思う。パブリックコメントの前後でやるのがいいと思う。

(4) 先進都市の視察

視察先を藤沢市と横須賀市とした。

視察のテーマについて、2市とも市民活動推進計画、指針、条例等の先進都市なので、それを策定した市の担当者から取り組みの方法について話を伺う予定であること、また、視察の内容について、藤沢市は市民活動推進計画の策定に至るまでの経過と市民活動推進センターの施設見学、横須賀市は市民活動推進指針及び条例の策定に至るまでの経過、市民活動サポートセンターの施設見学、センターを管理しているNPOまたは施設を利用しているNPOとの意見交換も予定していると事務局より説明し、了承を得た。